

## 三菱ダクト用換気扇

## (居間・事務所・店舗用)

グリルタイプ	インテリア格子タイプ (-Cタイプ)	スリットインテリアタイプ (-Xタイプ)	フラットインテリアタイプ (-FPタイプ)
形名	VD-15ZX12-C VD-15ZXP12-C	VD-15ZX12-X VD-15ZXP12-X	VD-15ZX12-FP VD-15ZXP12-FP VD-15ZE12-FP VD-15ZEP12-FP

## 取扱説明書・据付説明書

お客様用／販売店・工事店様用

この製品の運転にはコントロールスイッチが必要です。  
コントロールスイッチの位置を確認してください。

**お客様自身では据付けないでください。**  
(安全や機能の確保ができません)

- お客様
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません、またアフターサービスもできません。  
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.  
No servicing will be provided outside of Japan.
  - 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書をよくお読みください。  
なお、ご使用の前に「1.安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
  - お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

## 本冊子は据付け後、必ずお客様へお渡しください。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品は、居間・事務所・店舗の天井に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- 形名によって据付方法が異なりますので、据付け前に形名をご確認ください。  
形名表示位置は「2.各部のなまえ」を参照してください。
- この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フードなどは三菱換気送風機総合カタログをご確認の上、別途ご用意ください。
- 電子式スイッチ（半導体制御による速調・温度・湿度・タイマースイッチなど）やホタルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・鋼板管のいずれかをご用意ください。

## 据付説明書は裏面をご覧ください

## 取扱説明書

## 1. 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

**警告**誤った取扱いをしたときに、  
死亡や重傷などに結びつく  
可能性のあるもの**注意**誤った取扱いをしたときに、  
軽傷または家屋・財物など  
の物的損害に結びつくもの

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

**警告**

**禁止** • ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない  
爆発・引火の原因。

**水ぬれ禁止** • 製品に直接水やお湯、かび取り剤などをかけない  
ショート・感電の原因。

**分解禁止** • 改造や工具を必要とする分解はしない  
火災・感電・けがの原因。  
分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。

**指示に従う** • お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る  
感電・けがの原因。

• 交流 100V を使用する  
直流や交流 100V 以外を使用すると感電の原因。



- 異常・故障時には、直ちに使用を中止する  
発煙・発火・感電・けがの原因。

〈異常・故障例〉  
本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう据付ける  
漏電した場合発火の原因。

- 電気工事の際、裸線に接触しない  
感電の原因。

**注意**

- 換気扇設置場所で熱気や油煙を発生させない  
本体・部品の落下によるけがの原因。

- 換気扇設置場所で中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用しない  
本体・部品の落下によるけがの原因。

- 直接炎のあるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない。  
火災の原因。

- 台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には据付けない  
本体・部品の落下によるけがの原因。

- 中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けない  
本体・部品の落下によるけがの原因。

- 本体に異常な振動が発生した場合は使用しない  
本体・部品の落下によるけがの原因。



浴室での使用禁止



接触禁止



指示に従う

- 浴室など温氣の多い場所には据付けない。また、使用しない  
感電・故障の原因。

- 運転中は危険なため、羽根の中に指や物を入れない  
けがの原因。

- 電気工事は必ず電気工事店に依頼する  
感電の原因。

- お手入れの際は手袋を着用する  
着用しないとけがの原因。

- 部品の据付けは確実に行う  
落下によるけがの原因。

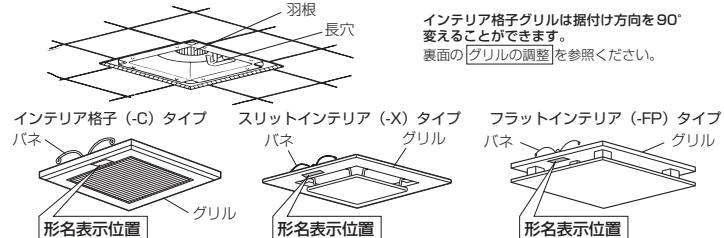
- 長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る  
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

- 据付けの際は必ず手袋を着用する  
けがの原因。

- 本体の据付けは十分強度のあるところを選んで安全・確実に行う  
落下によるけがの原因。

- 電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う  
接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。

## 2. 各部のなまえ



## ご使用にあたってのお願い

- スプレー（殺虫剤・整髪用・掃除用など）をかけないでください。  
(グリル・羽根の破損、変質の原因となります)
- 高温（40°C以上）になるところに据付けられていないか確認してください。  
(製品の変形や早期故障の原因となります)
- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。  
(台所用中性洗剤をご使用ください。ただし、柑橘系などの植物系洗剤はプラスチックが破損するおそれがあるため使用しないでください)  
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など  
(異常音の発生、変質、変色、塗装ががれや故障の原因)

## 3. 使用方法

**注意**

- 換気扇設置場所で熱気や油煙を発生させない  
本体・部品の落下によるけがの原因。
- 換気扇設置場所で中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用しない  
本体・部品の落下によるけがの原因。

運転開始と停止は壁のコントロールスイッチで行います。

- スイッチにより、ランプが点灯して運転中であることが分かるものがあります。

お願い ● 給気口があるか確認してください。(効果的な換気を行うために必要です)

- お知らせ ● この換気扇は外気逆流や冷気侵入などを低減させるため、排気側に風圧式シャッターを設けています。風圧式シャッターでは急激なドアの開閉や外風の強い時に、シャッターの閉じる音が聞こえる場合があります。

禁止	• ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。
水ぬれ禁止	• 製品に直接水やお湯、かび取り剤などをかけない ショート・感電の原因。
分解禁止	• 改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。
指示に従う	• お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。
感電注意	• 交流 100V を使用する 直流や交流 100V 以外を使用すると感電の原因。

## 4.お手入れのしかた

グリルにはこりが付着しますと風量低下や異常音発生の原因となります。

6ヶ月に1度を目安に、グリルの清掃をしてください。

※清掃頻度は目安であり、使用環境により異なります。

### 警告

お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る  
感電・けがの原因。

### 注意

お手入れの際は手袋を着用する  
着用しないとけがの原因。

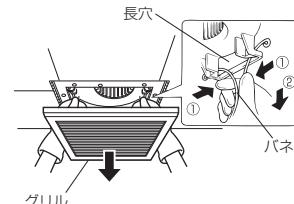
- お願い**
- 洗剤などをご使用の場合は、台所用中性洗剤をご使用ください。  
ただし、柑橘系などの植物系洗剤はプラスチックが破損するおそれがあるため  
使用しないでください。
  - 台所用中性洗剤は原液のまま使用せず、洗剤に記載の使用量の目安に従い、  
薄めてご使用ください。
  - 洗剤が残らないようよくふき取ってください。
  - 2.各部のなまえの** **ご使用にあたってのお願い** に記載の溶剤・洗剤を使用しない  
でください。

### グリルをはずす

- グリルを両手で少し下げ、バネをにぎって本体内部の長穴からはずします。
- バネは片側ずつ取りはずすとスムーズにはれます。

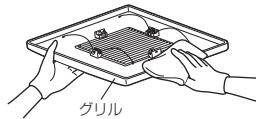
#### VD-15ZE(P)12-FPの場合

- 落下防止チェーンが付いていますので本体の端子カバー近くの穴に引掛けられている落下防止チェーンのフックをはずして、グリルを取りはずします。



### 汚れを取る

- グリルの汚れは、台所用中性洗剤を浸した布でふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ります。
- グリル以外の汚れがひどい場合および振動や騒音が発生した場合は、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。



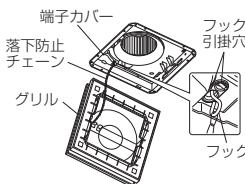
### グリルを据付ける

- お願い**
- グリルを据付ける前に、バネの固定部に割れ・ひびなどの破損がないか確認してください。

- バネを長穴に差し込み、グリルを軽く上に押し上げます。
- バネは本体側へ片側ずつ差し込むとスムーズに据付けられます。

#### VD-15ZE(P)12-FPの場合

- バネを長穴に差し込む前に、落下防止チェーンのフックを、本体の端子カバー近くの穴に引掛けます。



## 5.修理を依頼する前に

### このような動作や事象は異常ではありません。

- この換気扇は風圧式シャッターを設けています。急激なドアの開閉や外風が強い時などに、シャッターの閉じる音が聞こえる場合があります。
- ダクト配管が長いまたは曲がが多い場合は、羽根の回転数が上昇し、運転音が大きくなります。
- 使用環境によっては、部屋の反響などにより、音が大きく聞こえる場合があります。

当社ホームページの「よくあるご質問FAQ」もご確認ください。  
(<http://faq01.mitsubishielectric.co.jp/category/show/270>)



### このような症状があれば点検してください。

- コントロールスイッチを入れても換気扇が運転しない。
  - ブレーカーが切れていたり、停電ではありませんか？
  - 羽根が回転しているか確認してください。
  - 運転音が小さく、運転しているか分かりにくい場合があります。
- 換気されない、換気量が不足する。
  - 運転中に異音がする。
- グリルから室内に風が吹き返す。
  - 屋外フードにほこりが堆積していないませんか？
  - グリルや本体が確実に据付けられていますか？
- グリルがはすれかけている。
  - または傾いている。

点検・処置をしても直らない場合

電源を切って必ず販売店に点検・修理を依頼してください。  
費用については販売店に相談してください。

## 6.アフターサービス

### ■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この換気扇の補修用性能部品を、製造打切り後6年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 長年ご使用いただくためには換気扇のメンテナンスが必要です。
- モーターは消耗部品です。

### ■修理を依頼されるときは

#### ●修理料金は

技術料+部品代（+出張料）などで構成されています。

●技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。

●部品代…修理に使用した部品代です。

●出張料…お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用（出張料）や有料駐車場の費用（駐車料）を別途いただく場合があります。

#### ●ご連絡いただきたい内容

- 品名 ダクト用換気扇
- 形名 VD-〇〇〇〇
- お買上げ日 ○年○月○日
- 故障の状況 （できるだけ具体的に）
- ご住所 （付近の印影なども）
- お名前・電話番号・訪問希望日

### ご相談窓口・修理窓口のご案内（住宅用換気送風機）

#### ■お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについて

- お買上げの販売店にご依頼できない場合  
(転居や贈答品など)は、  
**各窓口**へお問い合わせください。

#### ご相談窓口 住宅用換気送風機の購入相談・取扱い方法

##### ●三菱電機換気送風機技術相談センター

フリーダイヤル 0120-726-471 (無料)

携帯電話・PHS対応

三菱電機株式会社 中津川製作所 FAX (0573) 66-5659 (有料)

〒508-8666 長野県中津川市駒塚町1番3号

受付時間365日24時間

お問い合わせ窓口における個人情報の取り扱いについて

### 修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

#### ●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル 0120-56-8634 (無料)

携帯電話・PHSの場合

TEL 0570-01-8634 (有料)

FAX 0570-03-8634 (有料)

受付時間365日24時間

### 7.仕様

電圧100V

形名	消費電力 (W)		風量 (m³/h)		騒音 (dB)		質量 (kg)
	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
VD-15ZX12-C	13.5	14	160	155	28.5	28	3.5
VD-15ZX12-X	13.5	14	160	155	28.5	28	3.5
VD-15ZX12-FP	13.5	14	160	155	27.5	26.5	3.8
VD-15ZE12-FP	13.5	14	160	155	25.5	24.5	4
VD-15ZX12-C	20	22.5	210	200	35	34.5	3.5
VD-15ZX12-X	20	22.5	210	200	35.5	34.5	3.5
VD-15ZX12-FP	20	22.5	210	200	34	33	3.8
VD-15ZEP12-FP	20	22.5	210	200	32	31	4

\*特性はJIS C 9603に基づく開放時の値です。

\*騒音値は無響室での測定値です。実際付状態では反響音などを含むためこれより高くなります。

### 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】  
※経年劣化により危険の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

【設計上の標準使用期間とは】  
※運転時間や温度など、標準的な使用条件（右表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を基とし、JIS C 9921-2に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。

・本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。

・「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

・羽根に異物が付着しているかもしれません。

・羽根が回転しているか確認してください。

・運転音が小さく、運転しているか分かりにくい場合があります。

・羽根が回転しているか確認してください。

# 据付説明書

## 1. 据付けを正しく安全に行うために

据付けを始める前に「1. 安全のために必ず守ること」(表面)、据付手順をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

## 2. 据付け前のお願い

### ! 注意

- 台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には据付けない  
本体・部品の落下によるけがの原因。
- 中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けない  
本体・部品の落下によるけがの原因。

#### 据付けにあたって

- ダクト用システム部材の使用については、地区により異なる規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。
- 高溫(40°C以上)になるところには据付けないでください。早期故障の原因となります。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 傾斜天井には据付けないでください。シャッター開閉不良、振動、異常音の原因となります。
- 製品上部を断熱材などで覆わないでください。早期故障の原因となります。

#### 据付位置

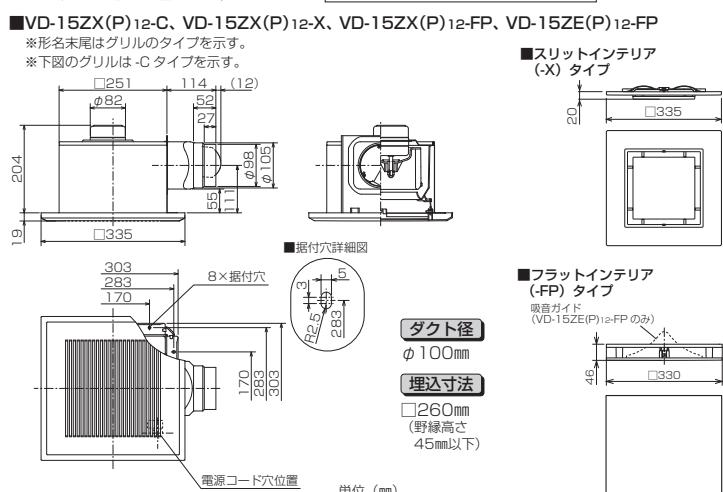
- グリルを取りはずしやすくなるためグリル側面と部屋の壁面が150mm以上離れる位置に製品を据付けてください。

#### 天井・ダクト工事

- 天井材は、振動・共鳴防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 排気ダクトは雨水の浸入やドレン水の逆流を防ぐため屋外に向けて1/100以上 の下り勾配をつけてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因となります。
  - 極端な曲げ
  - 多数の曲げ
  - ダクト接続口のすぐそばでの曲げ
  - 換気扇
  - しばり
- 天井金具を使用する場合、製品の着脱には天井裏での作業が必要です。  
天井裏での作業ができるよう製品の近くに点検口を設けてください。点検口がない場合、製品取替えなどで天井などを壊す費用は、お客様のご負担となります。

## 3. 外形寸法図

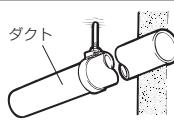
### [付属部品] 木ネジ…6本



## 4. 据付方法

※天吊金具を使用される場合は“天吊金具を使用する場合”をご覧ください。

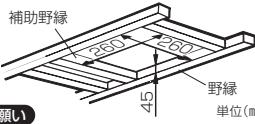
### 1 ダクト工事



壁排気穴から本体のダクト接続口までダクト配管する。

- ダクトはダクト接続口に力が加わらないよう天井より吊る。(力が加わるとシャッター開閉不良、風漏れの原因となります)

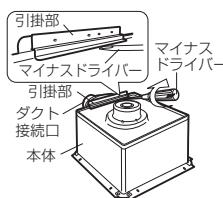
### 2 野縁組立



内寸が260mm、高さが45mm以下になるよう天井の野縁と補助野縁で据付枠を組む。

- (野縁高さを45mm以上で据付けると、シャッター開閉不良、異常音の原因となります)

### 3 ダクト接続

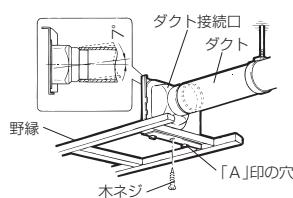


#### ダクト接続口の取りはずし

- 図のように本体と引掛部のすき間にマイナスドライバーを差し込み、回してダクト接続口をはずす。

#### お願い

- ダクト接続口は無理に引き抜かないでください。



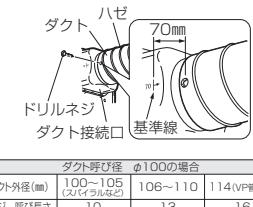
#### ダクト接続口の固定

- ダクト接続口をダクトに差し込み、野縁の角の直角に合わせ、すき間がないよう付属の木ネジ1本で仮固定する。(「A」印の穴を使用)
- 塩化ビニル管と接続する場合、ダクト方向の微調整が可能です。(全方向7°)

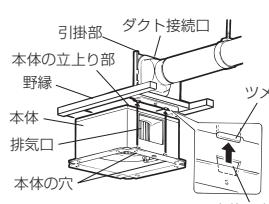
### 2 ネジでダクトを接続する場合

#### ネジによる接続

- 図のように矢印から水平に70mmの位置に市販のドリルネジで固定する。スパイラルダクトでハゼ部が上記70mmの位置にくる場合は、矢印から水平に60mmの位置に固定する。
- ドリルネジの長さはダクトの種類に合わせ、右表を参照してください。シャッター開閉や固定不良の原因となります。
- 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでネジの頭をテーピングする。



### 4 本体の据付け

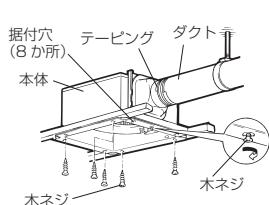


#### 本体の差し込み

- 本体の穴とダクト接続口の内側のツメおよび本体の立上り部とダクト接続口の引掛部がはまりこむように本体とダクト接続口を接続する。

#### お願い

- 羽根を持って本体の据付けを行わないでください。(本体に羽根があたり、異常音の発生や羽根破損の原因となります)



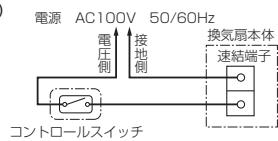
#### 本体の固定

- 本体がダクト接続口に密着していることを確認してから、付属の木ネジ5本で本体をすき間のないようにしっかりと固定する。(すき間があると風漏れの原因となります)
- 天吊金具を使用する場合は、付属の木ネジ1本で向かい合う2辺の据付穴を使用し、固定してください。
- ダクト接続口を仮固定している木ネジ1本を締め付ける。
- 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテーピングする。

## 5 電気工事

電線同士の接続や接地工事を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（および同解説）」および「内線規程」に従い実施してください。

### ■結線図（太線部分を結線する）



お願い

- 結線間違いや異電圧印加などの誤結線を行いますとモーターが故障します。  
誤結線によるモーター故障の場合、サービス費用（交換部品代含む）はお客様のご負担となりますので結線図を十分ご確認の上、結線してください。

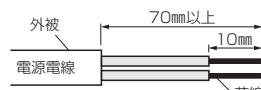
### ■適応コントロールスイッチ

本体形名	コントロールスイッチ 形名	定格
VD-15ZX12-C	VD-15ZXP12-C	
VD-15ZX12-X	VD-15ZXP12-X	
VD-15ZX12-FP	VD-15ZXP12-FP	
VD-15ZE12-FP	VD-15ZEP12-FP	

### ■結線の前に

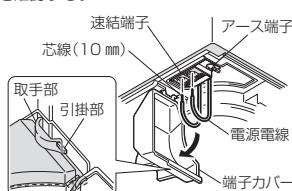
お願い

- 電源電線の外被は70mm以上皮むきしてください。
- 電線被ふくは10mm皮むきしてください。端子カバーに刻印されている皮むき寸法圖に合わせて皮むきすると便利です。（10mm以上むくと漏電の原因となります）
- より線を結線する場合は、棒状压着端子（市販品）をより線に取付けてから速結端子に確実に差し込んでください。
- 電源電線は、接続部に力が加わらないよう本体付近で約150mmたるませて、本体上部のモーターに接触しないようにしてください。
- アース工事の際は、単線φ1.6またはより線1.25mm<sup>2</sup>をご使用ください。（圧着工具は日本圧着端子製YHT-2210をご使用ください）



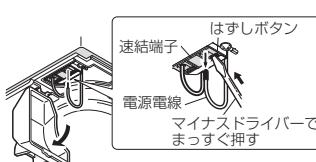
### ■結線方法

1. 本体上部のゴムブッシュより電源電線（屋内配線VVVFケーブルφ1.6またはφ2）を通す。
2. 端子カバーの取手部に指を掛け、下に引いて端子カバーを開け、速結端子に皮むきした芯線を確実に奥まで差し込む。（下図参照）
3. 端子カバーを元どおり取付ける。「パチン」と音がするまで押し込み、端子カバーが引掛部に確実に固定されていることを確認する。

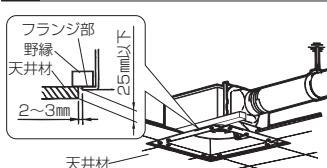


### ●電源電線をはずす場合

- マイナスドライバーで速結端子のはすしボタンをまっすぐ押しながら電源電線を引いてはずしてください。

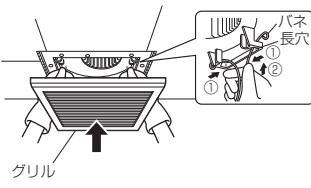


## 6 天井材を張る



- (1) 天井材を張る。
  - (2) 本体のフランジ部分と天井材は必ず2~3mmのすき間があくよう角穴をあける。
- お願い
- 天井材の厚さは25mm以下で据付けてください。（グリルが天井材に密着しない場合があります）

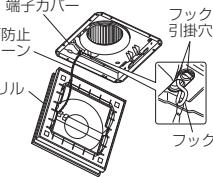
## 7 グリルの据付け



- (1) グリルのバネを指先で縮め長穴に差し込む。バネは本体側へ片側ずつ差し込むとスムーズに据付けられます。

- (2) 手を放し軽くグリルを押し上げ天井材に密着させる。

### ■VD-15ZE(P)12-FPの場合



バネを長穴に差し込む前に、落下防止チェーンのフックを端子カバー近くのフック引掛穴に引掛ける。

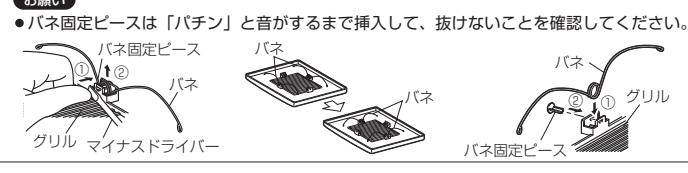
### グリルの調整

#### インテリア格子グリル（-Cタイプ）の方向を変更する場合

…天井材に合わせてグリルの方向を変更できます。

- (1) マイナスドライバーの先端でバネ固定ビースを矢印①の方向に押し、グリルから抜き取りバネをはずす。
- (2) バネの位置を90°変更して据付け、バネをバネ固定ビースで固定する。

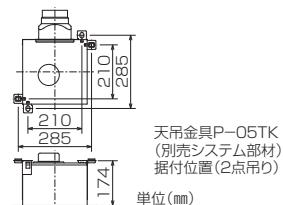
お願い



### 天吊金具を使用する場合

野線に強度がない場合は天吊金具を使用して据付ける方法も併用してください。

下図の位置にあらかじめ市販の吊りボルト（M8）を埋め込む。



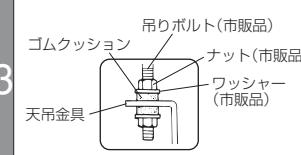
お願い

- 本体付近に必ず点検口を設けてください。本体着脱の際、天井をはがさないと据付けられない場合があります。

2



3



本体が水平になるように天吊金具を吊りボルトに据付け、ナットがゆるまないようワッシャー・ナットにて確実に固定する。

お願い

- 下側のナットには緩み防止機能付ナットの使用や接着剤・緩み防止剤などにより緩み止めを施してください。

## 5. 試運転およびお客様への説明

- コントロールスイッチがある場合は、切/入が正しくできるか確認してください。
- 異常な音や振動がないか確認してください。

お客様への説明

表面の取扱説明書に従って、正しい使い方をお客様、発注者（オーナー、ゼネコン）または管理者に説明してください。

## 6. 修理を依頼する前に

■試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

こんなとき	原 因	点検・処置
電源スイッチを入れても羽根が回転しない	分電盤のブレーカーが「切」になっている 正しく結線されていない	ブレーカーを「入」にする 結線を確認する（スイッチ部／電源線接続部） ※換気扇にAC100Vが供給されていることを確認する
運転中に異常な音や振動がする	本体・グリルが確実に据付けられていない 羽根・グリルに異物が付着している 本体の固定（天吊金具・ネジ止め）が弱い 換気風路の抵抗が大きい（ガラリ・アンダーカット） 換気風路の抵抗が大きい（ダクト配管） 換気風路の抵抗が大きい（屋外フード）	正しく据付け直す 異物を取り除く 本体の固定を確認する ガラリ・アンダーカットを開けて給気する ダクトのつぶれ、急な曲がりを修正する 屋外フードのほこりを清掃する（特にリフォーム時）